

**国語の大切さを本当の意味で知るのは大人になってから。
だから子供のうちにしっかり国語の勉強をしてもらいましょう。
将来、自分で好きなことができるように、
自分で道を切り開いていくことができるように。**

大人になって国語ができなくて困ったのはどんなとき？

- ◎上司・同僚・部下に自分の意見や気持ちがうまく伝わらないとき。
- ◎取扱説明書や契約書の文章の意味がよく分からないとき。
- ◎久々に手書きで文章を書いて漢字が出てこなかったとき。
- ◎パソコンに出てくる漢字のどれが正しいのかわからないとき。
- ◎会社の打ち合わせ中に出てきた言葉の意味が分からないとき。
- ◎ビジネスメールを書いていて語彙力のなさに絶望したとき。
- ◎プレゼンや発表が苦手で気が重いとき。
- ◎資格取得のために勉強しようと始めたが、なかなか覚えられないとき。
- ◎間違った言葉遣いを周囲に指摘されたとき。
- ◎漢字の読み書きを間違っていると指摘されたとき。
- ◎ニュースを見ていても知らない言葉だらけだったとき。
- ◎ディスカッションで賢そうな人に言いくるめられるとき。

**このように『若いうちにもっと国語の勉強をしていれば・・・』
と思っている大人はたくさんいると思います。**

**なるべく早いうちから読書を中心とした国語の勉強をする習慣をつけて
おけば、きっとその子の人生が変わります。**

**太陽学院で国語を勉強したからと言ってすぐにできるようになるわけ
はありません。私たちは『国語を勉強するきっかけ』を与え、
『国語を勉強する習慣』を身につけてもらいたいと考えています。**

だから、私たちのできる限りのことをさせたいと思っています。



◆太陽学院は国語を大切にします◆

思い当たることはありませんか？

- 文章を読むのにつかえたり、時間がかかったりする。
- 文章を書くことが苦手だ。
- 何回も練習しているのに漢字や英単語などを覚えられない。
- 本を読む気がしないし、読んでもつまらない。
- テストなどの問題の意味がわからないことがある。
- 「何を言っているかわからない」とよく言われる。

これらはすべて『国語の力がない』ことが主な原因と考えられます。一生懸命勉強しているのに伸びないのも国語の力がないからです。また、国語の力があるかないかは、将来仕事をするときにも大きな差となって表れます。太陽学院では、伸ばすのに最も時間がかかると言われる国語の力を次のようなさまざまな方法でじっくり伸ばしていきます。

①教科書ワーク **授業中** (中学生)

- 教科書の文章に慣れ、定期テストで点数を取ることが目的です。
- ※小学生は実力養成用のテキストを使用しています。

②漢字テスト **授業中** (小・中学生)

- 基準点を下回ると満点になるまで何回でも再テストを受けてもらいます。

③新聞のコラムの書き写し **宿題** (小・中学生)

- 少しでも新聞に興味を持って欲しい。
- 正しい日本語に触れて欲しい。
- 暗記力・集中力を養って欲しい。

④文章問題プリント **宿題** (小・中学生)

- 小1～中3までの9段階の問題の中から無理なく解けるレベルを選んで始めます。
 - 問題を解くと、『文学的文章』や『説明的文章』などいろいろな分野の選ばれた文章を読むことになります。
- この『いろいろな文章を読む』ことが文章題プリントの一番の目的です。
- なかには問題に出てきた文章の続きが気になり、学校や図書館で借りたり、買ったりして読む生徒もいます。
- その結果、読書の幅が広がってくれればと思っています。

⑤漢検の練習 **授業中** (小・中学生)

- 漢検が漢字を練習する上でのモチベーションになります。
- 目標に向け積極的に挑戦する姿勢も身につけて欲しいと考えています。

⑥読書の時間 **授業外** (小5・小6)

- 朗読CD(2倍速～4倍速)を追って読んでいく方式ですので、苦手な生徒も無理なく読書ができます。

⑦作文講座 **授業中** (小・中学生)

- 要点をとらえて文章にまとめる練習を学年を追うごとにレベルアップしながら繰り返していきます。

◆太陽学院は国語を大切にします◆

思い当たることはありませんか？

- 文章を読むのにつかえたり、時間がかかったりする。 文章を書くことが苦手だ。
- 何回も練習しているのに漢字や英単語などを覚えられない。 本を読む気がしないし、読んでもつまらない。
- テストなどの問題の意味がわからないことがある。 「何を言っているかわからない」とよく言われる。

これらはすべて『国語の力がない』ことが主な原因と考えられます。一生懸命勉強しているのに伸びないのも国語の力がないからです。また、国語の力があるかないかは、将来仕事をするときにも大きな差となって表れます。太陽学院では、伸ばすのに最も時間がかかると言われる国語の力を次のようなさまざまな方法でじっくり伸ばしていきます。

①教科書ワーク **授業中** (中学生)

- 教科書の文章に慣れ、定期テストで点数を取ることが目的です。
- ※小学生は実力養成用のテキストを使用しています。

②漢字テスト **授業中** (小・中学生)

- 基準点を下回ると満点になるまで何回でも再テストを受けてもらいます。

③新聞のコラムの書き写し **宿題** (小・中学生)

- 少しでも新聞に興味を持って欲しい。
- 正しい日本語に触れて欲しい。
- 暗記力・集中力を養って欲しい。

④文章問題プリント **宿題** (小・中学生)

- 小1～中3までの9段階の問題の中から無理なく解けるレベルを選んで始めます。
 - 問題を解くと、『文学的文章』や『説明的文章』などいろいろな分野の選ばれた文章を読むことになります。
- この『いろいろな文章を読む』ことが文章題プリントの一番の目的です。
- なかには問題に出てきた文章の続きが気になり、学校や図書館で借りたり、買ったりして読む生徒もいます。
- その結果、読書の幅が広がってくれればと思っています。

⑤漢検の練習 **授業中** (小・中学生)

- 漢検が漢字を練習する上でのモチベーションになります。
- 目標に向け積極的に挑戦する姿勢も身につけて欲しいと考えています。

⑥読書の時間 **授業外** (小5・小6)

- 朗読CD(2倍速～4倍速)を追って読んでいく方式ですので、苦手な生徒も無理なく読書ができます。

⑦作文講座 **授業中** (小・中学生)

- 要点をとらえて文章にまとめる練習を学年を追うごとにレベルアップしながら繰り返していきます。